

(3) 地層に近づいて、その特徴を観察させる。

④層は80cm大の大きな角ばったレキを含む暗灰色の地層で、角ばったレキは吾妻山一切経山で見られるようなレキです。また、レキとレキの間を埋めているのは、火山活動で噴出した溶岩流です。このような岩石は地方によってえぼ石とも呼ばれており、正しくは集塊岩(しゅうかいがん)です。

⑤層は1.5m程の厚さにもっている黄かっ色をした地層です。触ってみると粗いクレンザーのような手ざわりを受けます。この地層は火山灰と砂が水中にもってできた凝灰岩質砂層です。

⑥層は川原で見かけるようなまらレキがもっている地層で、50cm大の大きなレキも含まれています。このレキ層は段丘性のレキ層で、昔の川原にもった地層です。

## 2、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

学校への登口近くの川原

(2) 自動車に注意し、道路上から、川の流れや、中州、川原のようすを観察する。

① 水の流れ、川原、中州、防岸工事がなされた所など、川全体をスケッチする。

② レキなどのもっている川原は、流れの曲がっている内側の岸辺にできているか、外側の岸辺にできているか。

③ 流れが曲がっている所での岸の傾斜を観察しよう。内側と外側とでどちらがゆるやかか。また、外側の岸はなぜ防岸工事がなされたのだろうか。

(3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

① 川原の近くと、向かい岸の近くとで、水の流れはどうか。木片を流して比

